

**博物館職員における新型コロナウイルス陽性者確認に伴う臨時休館について
(経緯報告)**

令和3年12月10日

鳥取県立博物館

1 概要

令和3年8月10日(火)、博物館職員(看視員)1名に新型コロナウイルス感染症の陽性が確認されたことから、8月11日(水)から臨時休館にした。

その後、館職員による消毒作業を行い、また、陽性職員と同じ日に勤務していた職員及び来館者(希望者)のPCR検査の結果、全員の「陰性」が確認できたので、8月15日(日)から開館を再開した。

<陽性職員の状況>	ア 感染経路	家庭内の感染の思われる
	イ 症状等	37～38度の発熱、倦怠感
	ウ 入院等	8月10日(火)～8月11日(水) 自宅待機 8月12日(木)～8月17日(火) 軽症者療養ホテル 8月17日(火)～8月27日(金) 病院(入院)
	エ 職場復帰	10月8日(金) 企画展「ととりの乱世展」事前説明会から勤務

2 経緯

期 日	内 容
8/10(火)	<p>○【13:20】職員から博物館へPCR検査で陽性になった旨電話連絡あり</p> <p>○職員から「発症2週間前からの行動履歴」の報告を受け、教育総務課へ提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発症日は8/9(月)。 ・発症日の2日前(8/7)から他者へ感染させる可能性あり。 ・当該職員の直前の出勤日が8/6(金)8/7(土)であることと、当該職員の配偶者が8/6(金)に発症していることから、館内で感染拡大の危険性があるのは、8/6(金)及び8/7(土)と特定。 <p>○鳥取市保健所は、陽性職員からの聞き取りにより、陽性者との接触者は同日勤務の看視員のうち、同時時間帯でスタッフルームに入った3名のみと判断</p> <p>○対応方針について館内協議し、教育総務課(教育長・次長)へ方針相談</p> <p>○館内消毒作業の準備開始。(消毒の範囲の決定、役割分担、薬剤確保など)</p> <p>○【19:30】知事協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/11(水)から当面の間、臨時休館すること ・8/6(金)8/7(土)勤務の看視員全員のPCR検査を実施すること ・8/6(金)8/7(土)来館者で希望される方のPCR検査を実施すること <p>○【20:30】教育総務課から記者室へ資料提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/10(火)博物館職員1名の陽性が確認(※職種・性別・年代等は非公表) ・8/11(水)から当面の間臨時休館 ・8/6(金)8/7(土)の来館者で不安に思われる方は博物館へ連絡 <p>○【20:40】博物館HPに同上内容を掲載</p> <p>○【22:30頃まで】マスコミからの電話対応</p>
8/11(水)	<p>○臨時休館(1日目)</p> <p>○【9:00～10:00】館職員(4名)による消毒作業</p> <p>○陽性職員と接触の可能性のある看視員・受付員(26名)について、鳥取市保健所へPCR検査を依頼し、了解を得る。</p> <p>○【11:00】鳥取市保健所のPCR検査の対象外となる者について、(株)アールゼロ(米子市)へPCR検査の申込。(@14,850円/名)</p> <p>○(15:20)鳥取市保健所が陽性職員と接触があったと判断する職員(3名)が市立病院でPCR検査の検体採取 →8/12(木)13:00鳥取市保健所から陰性の報告あり</p> <p>○【16:00～17:00】館内職員(23名)PCR検査の検体採取 →8/12(木)17:34(株)アールゼロから陰性の報告</p>

8/12(木)	○臨時休館（2日目） ○【9:00～12:00】館内職員（6名）PCR検査の検体採取 →8/12（木）17:34（株）アールゼロから陰性の報告 ○【9:00～12:00】一般来館者（10名）PCR検査の検体採取（応接室） →8/12（木）17:34（株）アールゼロから陰性の報告 ○【10:00～11:00】看視員・受付員（25名）PCR検査の検体採取（講堂） →8/12（木）18:00 鳥取市保健所から陰性の報告 ○【14:00】看視員（1名）鳥取市保健所でPCR検査の検体採取 →8/13（金）12:00 鳥取市保健所から陰性の報告 ○【15:00】一般来館者（1名）PCR検査の検体採取（応接室） →8/13（金）17:27（株）アールゼロから陰性の報告
8/13(金)	○臨時休館（3日目） ○【16:00】新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第95回）で、関係者のPCR検査69名中68名の陰性を確認済み、残り1名の陰性が確認できれば、8/15(日)から開館再開を報告 ○【17:27】（株）アールゼロからPCR検査（最後の1名）の陰性の報告 ○企画展「クジラとイルカの世界」共催者との開館再開の調整
8/14(土)	○臨時休館（4日目） ○【10:00】教育総務課から記者室へ、8/15(日)開館再開について資料提供 ○【10:10】博物館HPに同上内容を掲載 ○看視員、受付員、ショップ職員、清掃委託業者、設備運営委託業者、ミュージゼ、駐車場警備委託業者等へ連絡（出勤者の調整）
8/15(日)	○開館再開

4 PCR検査の状況

区 分		検査主体	対象人数
職員(8/6(金)8/7(土)勤務)	看視員・受付員	鳥取市保健所	29人
	職員(館内委託業者等を含む)	(株)アールゼロ	29人
一般来館者(8/6(金)8/7(土)来館者)		(株)アールゼロ	11人
計			69人

※(株)アールゼロへの支出/①4,850円×40件=594,000円(県負担)

5 鳥取市保健所の指導

- ・県立博物館の新型コロナ対策の取組状況から館内で感染拡大することはない。
- ・博物館から8/6(金)8/7(土)に勤務した看視員は接触の可能性のあると言われるのであれば、鳥取市保健所のPCR検査の対象とするが、それ以外の者については検査不要である。
- ・博物館の開館再開については、もともと館内での感染拡大は「ない」という考え方なので、消毒作業が終われば再開されても全く問題ない。

6 今後への引継ぎ

- ・臨時休館・開館再開については、企画展の共催者と事前に調整する必要がある。
- ・感染の可能性のある期間に来館されていた団体(学校等)等については、マスコミ報道前に一報を入れておく必要がある。
- ・県の方針として、PCR検査の対象範囲は、保健所の考え方以上に広範囲にすること。
- ・鳥取市保健所が「接触の可能性あり」と認めた者については保健所負担でPCR検査してくれるが、それ以外の者にかかるPCR検査は、県費負担で行うことになる。